

令和元年度 がぶりがかるちゃー事業

2019年8月10日に北見市仁頃町の北見田園空間「にっころ」横の畑でがぶりがかるちゃー事業による家族いも掘り体験が開催されました。149組、約500名が参加し、時折り雨に当たりながらもじゃがいもの収穫を楽しみました。参加者には、収穫後、ぶた汁が振る舞われ、その他会場では仁頃の野菜やパンの販売、鹿肉の試食会、地元の特産品が当たる抽選会も行われ、会場を大いに盛り上げました。



↑農村地域の立体模型にじょうろで雨を降らせる子どもたち。みんな笑顔でいっぱいです^^



↑農業農村整備事業の
パネルも 立ち止まって見てくれました！

あ と が き

今年、中部耕地出張所からは16名の職員がイベントに参加し、この日はお盆前の連休でしたが、農業農村整備事業のPRのために、職員一同汗をかきました。今後も、事業の紹介やその効果についてアピールするために、この取り組みを続けていきたいと考えています。

☆中部耕地出張所による取り組み☆

中部耕地出張所も会場の一區画にブースを設け、パネル展を開催しました。この取り組みは当所で実施している農業農村整備事業の紹介やその効果について、一般の方にPRをすることを目的として、毎年、本イベントに出展しています。パネル展では、客土や暗渠排水について説明したのものや、畑地かんがいを実施したたまねぎの収量調査の結果を紹介しました。また、農村地域の立体模型では子どもたちがじょうろで雨を降らし、排水路から河川に水が流れている様子を実験しました。暗渠排水の立体模型では、バケツですくった水を模型の上から入れて、フタをはずすと勢いよく排され、子どもたちから、大きな歓声が上がっていました。



↑初めて見る!?! 暗渠排水の模型の仕組みに子どもたちも興味津々です！